

報道関係者 各位

平成 23 年 8 月 22 日
宮城労働局労働基準部健康安全課
健康安全課長 加納 圭吾
主任安全専門官 矢崎 英敏
電話 022 (299) 8839

がれき処理現場の安全衛生パトロールについて ーがれき撤去等の災害復旧工事等において労働災害が多発していること等 を踏まえ、安全衛生パトロールを実施ー

宮城労働局(局長 落合 淳一)では、被災地でのがれき撤去や損壊家屋の解体等の復旧工事等において労働災害が多発していること等を踏まえ、労働災害防止や石綿ばく露防止対策等の徹底を図るため、今般、気仙沼市から東松島市にかけての沿岸部を中心に下記のとおり安全衛生パトロールを実施します。

記

- 日時 平成23年8月24日(水) 10:30～15:00
8月25日(木) 10:30～15:00
- 場所 気仙沼市、南三陸町、女川町、石巻市、東松島市
- 内容 宮城労働局、県内労働基準監督署、他の労働局からの応援職員等によるチームを編成し、地区別を実施する。また、関係する市町の担当者にも参加を要請する。

詳細については別添の「災害復旧工事における安全衛生パトロール実施要領(平成23年8月実施分)」を参照してください。

なお、取材を希望される方は装備品を準備の上、次の日時・場所にお集まりください。石巻市役所前では宮城労働局長が対応し、同行取材に応ずる予定です。

(雨天の場合は26日に順延する予定です。詳しくは上記担当までお問い合わせください。)

日時 : 平成23年8月24日(水)13時

場所 : 石巻市役所前、気仙沼市役所前

装備品 : ヘルメット、防じんマスク、安全靴を着用してください。

【参考】

「がれき処理作業の安全パトロール(7月)の実施結果」

「災害復旧工事等に伴う労働災害発生状況(平成23年7月末現在)」

災害復旧工事における安全衛生パトロール実施要領（平成 23 年 8 月実施分）

平成 23 年 8 月 22 日
宮城労働局労働基準部

1 趣旨・目的

東日本大震災に係るがれきの撤去、損壊家屋等の解体等の復旧工事現場に対する安全衛生パトロールを実施し、労働災害防止及び石綿ばく露防止対策等の徹底を図る。

2 日時・場所

(1) 日 時

8 月 24 日（水）～8 月 25 日（木）（2 日間）

(2) 場 所

別紙「8 月安全衛生パトロール地区割り」の復旧工事現場

3 実施体制

宮城労働局、県内労働基準監督署、他の労働局からの応援職員等によるチームを編成し、地区別を実施する。

なお、関係する市町の担当者にも参加を要請する。

4 実施内容

復旧工事現場を巡回し、家屋の解体やがれきの撤去に係る安全対策、車両系建設機械等に係る労働災害の防止対策、石綿等ばく露防止対策、熱中症の予防対策等の徹底について指導する。また、防じんマスクを配布する。

別紙

8月安全衛生パトロール地区割り	
気仙沼市	旧気仙沼市(魚市場以北)
	旧気仙沼市(魚市場以南)
	旧本吉町
南三陸町	旧歌津町
	旧志津川町
石巻市	大街道～工業港
	雲雀野～南浜
	川口～魚町
	渡波
	旧牡鹿町
	旧雄勝町
	旧北上町(新北上大橋上流)
	旧北上町(新北上大橋下流)
女川町	女川町役場～塚浜
	女川町役場より東
東松島市	奥松島/野蒜
	鳴瀬川～小野
	大曲

災害復旧工事等に伴う労働災害発生状況（平成 23 年 7 月末現在）

1. 災害復旧工事等に伴う作業により、7 月末までに休業 4 日以上之死傷災害が 99 人（うち死亡災害は 3 人）発生しています。また、このうち 66 人（66.7%）は建設業で発生しています。死亡災害はいずれも建設業において発生しています。
2. 労働災害を事故の型別にみると、「墜落、転落」が 35 人（35.4%）、「はさまれ、巻き込まれ」が 14 人（14.4%）、「転倒」が 11 人（11.3%）、激突され 9 人（9.1%）、切れ・こすれ 8 人（8.1%）、飛来・落下 7 人（7.1%）、崩壊・倒壊 5 人（5.1%）、踏み抜き 4 人（4.0%）などとなっています。
3. 災害復旧工事等の種類別にみると、建築物の補修が 35 件（35.4%）（工場・ビル・倉庫等の補修が 19 件、一般家屋の補修が 16 件）、がれき等の撤去が 23 件（23.2%）（うち漂着がれき関連は 6 件）、建築物の解体が 7 件（7.1%）（一般家屋の解体が 5 件、工場・ビル・倉庫等の解体が 2 件）、仮設住宅の建設が 6 件（6.1%）、ガス等ライフライン関連が 6 件（6.1%）などとなっています。

表 1 災害復旧工事に伴う死傷者数

監督署	仙台	石巻	古川	大河原	瀬峰	計
死傷者数 (人)	57 (2)	21 (1)	8 (-)	2 (-)	11 (-)	99 (3)
うち建設業	37 (2)	14 (1)	6 (-)	0 (-)	9 (-)	66 (3)

注．（ ）は死亡者数を示す。

表 2 災害復旧工事等に伴う死亡災害の事例（概要）

発生月	年代	事故の型	発生状況の概要
4	20 歳未満	飛来、落下	外部足場の組立作業において、荷揚げ中の足場材が落下し、下にいた作業員に激突した。
5	50 歳代	墜落、転落	機械設備の修繕作業中、当該作業場所より下の階で倒れているところを発見された。（当該作業場所の近くには開口部あることから、墜落したものと推定）
6	20 歳代	墜落、転落	屋根瓦ふき替作業中、足場の作業床の上から墜落した。

表3 災害復旧工事等に伴う休業労働災害の事例（概要）

発生月	年代	事故の型	発生状況の概要
5	50歳代	火傷	重機を使用してがれき集積作業中、硫酸の入ったポリ容器にグラップルの爪が触れ、硫酸が運転者の顔や胸部などにかかった。フロントガラスを開けて作業していた。（1カ月の休業）
5	40歳代	転倒	仮設住宅の天井の電気配線作業中、乗っていた脚立とともに転倒した。（30日の休業）
7	50歳代	墜落、転落	重機のバケットに乗り、約3メートルの高さのところ足場の解体作業をしていたところ墜落した。（2カ月の休業）

東北3県の災害復旧工事等における労働災害の状況（7月末現在 / 休業4日以上）

労働局	岩手	宮城	福島	計
死傷者数 （人）	31 (2)	99 (3)	50 (3)	180 (8)
うち建設業	28 (2)	66 (3)	41 (3)	135 (8)

注. ()は死亡者数を示す。

熱中症による休業4日以上の労働災害の発生状況（宮城労働局管内）

	21年度			22年度			23年度			
	6月	7月	8月	6月	7月	8月	6月	7月	8月	
建設業				3		3			1	
製造業	1	1		2		2			1	
運送業				3		3			2	
その他				4(1)	1	2(1)	1		2	1
合計	1			12(1)			7			

注1. ()内は死亡者数を示す。

注2. 23年度については8月19日時点の発生状況です（23年度も昨年度と同様、更に増加することが懸念されます）。

がれき処理作業の安全パトロール（7月）の実施結果

1 パトロールを実施した地域

気仙沼市、南三陸町、女川町、石巻市、東松島市

2 パトロール実施現場数

7月6日実施分：45現場

7月7日実施分：43現場 合計：88現場

3 パトロールで確認した問題点

安全な作業方法等について指示を行う現場責任者が明確になっていない。 [5現場]

倒壊するおそれがある建築物の近くで作業を行っていた。 [5現場]

（労働者以外の）被災者等を災害に巻き込むことを防止する措置（立入禁止措置・監視員の配置等）を講じていない。 [11現場]

石綿などの粉じんの吸入を防止するための適切な呼吸保護具（マスク）を使用させていない。 [38現場]

石綿が含まれているおそれのある古い建材を処理する場合に、散水等の対策を講じていない。 [5現場]

作業を行う労働者と車両建設機械との接触を防止する措置を適切に講じていない。 [9現場]

がれきの中に変圧器やコンデンサー等PCBが混入しているおそれのある電機設備があった場合の対応を、明確に定めていない。 [8現場]

保護帽、安全靴、作業手袋、防じんゴーグル等の保護具について、適切なものを使用させていない。 [18現場]

揺れの強い地震が発生した場合等緊急時における退避方法・連絡体制等を、明確に定めていない。 [5現場]